


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 II IV V 】
2 実施対象者	学校名 一宮町立一宮小学校 対象学年 全校 人数 536人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育 総合的な学習 学級活動) ② 行事名 () ③ その他 (委員会活動) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動をする。 ・生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる。 ・自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について関心を持つ。 ・障害のある人や高齢者等の体験を通してハンディのある人の苦しみや対応の仕方を学ぶ。
5 取組内容	①宮薙祭行灯まつり(みやなぎさいあんどんまつり) 玉前神社で古来より7月に行われている「宮薙祭行灯まつり」で使用されている大行灯の絵柄作成と小行灯の骨組みと紙貼りを行った。児童には希望者を募り、参加している。児童は、地域の伝統文化に触れ、行事について知ることによって地域への理解を深められた。  ②長生特別支援学校との交流 県立長生特別支援学校が開催する夏の納涼祭に本校の児童がボランティアとして参加した。児童たちは金魚すくいや水ヨーヨー作り等を手伝いながら支援学校の児童と親睦を深めたりボランティアの精神やおもてなしの気持ちを育てたりできた。

③上総国一宮まつりパレード

地域行事である上総国一宮まつりパレードに金管部とマーチングクラブ合同で参加した。当日は、多くの保護者や町民に応援されてパレード会場で演奏をした。



④福祉体験教室

4年生の総合的な学習で福祉体験を行った。これは町の福祉健康課職員、特養老人ホームの職員を講師に行った。児童は、視覚障害・肢体不自由・高齢者に対する対応の仕方の体験や福祉施設・福祉用具の説明を通して社会福祉やボランティアに対する理解を深めた。



⑤ラグビー体験教室

地域在住でラグビーチームを率いている松田さんを講師に招き、ラグビー体験教室を行った。ラグビーを通じて仲間を大切にする心やオリンピックへの関心を高めることを目的に行った。相手のことを思ってパスを出すように講師に指示されながら懸命にボールを追っていた。児童は、「ボールがどこに転がるか分からないので難しかった」と話していた。



⑥シッティングバレーボール体験

パラリンピックの競技種目であるシッティングバレーボールを知り、体験することで障害者スポーツについての理解を図るシッティングバレーボールの体験を授業の中で行い、低学年でもできるようにソフトバレーボールを使い実施する。

6 主な成果	オリンピック・パラリンピック教育に取り組むことで児童にスポーツの楽しさやオリンピック精神の意義、ボランティア精神、障害者への理解、地域行事や伝統について理解させる一助になった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none">・児童が実際に体験をしたり活動したりする場面をできるだけ多く設定した。・地域の行事や伝統にできるだけ触れさせ、自分の地域について知る機会を増やし、地域に誇りを持てるようにした。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none">・講師を見つけることやオリパラ教育の内容について参考にすべき物が少なく苦労した。・学校のカリキュラムは忙しく、その中に新たに組み込んでいくのは難しい。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none">・今年度行ったこと継続し取り組んで行く。・シッティングバレーボールの講師を探し、技能の向上を図りたい。また、障害者スポーツについて理解を深めさせたい。

